

No	キャラ名	台詞
5-001	彩蝶	あら、しみてしまいましたか？ でも痛いのは生きている証。
5-002	彩蝶	それにこうしてお酒で全身を清めれば 傷口に雑菌が入る心配もありません。
5-003	彩蝶	雑菌塗れのお肉なんて お腹を下してしまいかもしれませんからね。
5-004	彩蝶	おや、なにかおかしなことを言いましたか？
5-005	雛菊	姉さんはなにもおかしくない、 姉さんは常に正しい。
5-006	彩蝶	うふふ、そうよね。 こうして私たちは数百年生きてきたんですもの。
5-007	雛菊	どうせ食べるならより美味しい方がいいに決まっている。 下味をつけるのは料理の基本。
5-008	彩蝶	他の準備は出来ている？
5-009	雛菊	斧も鉈も包丁もシッカリ研いでおいた。 あれならどんなに太い骨も一撃で断ち切れる。
5-010	彩蝶	偉いわ雛菊。 道具の手入れの大切さをちゃ～んと理解しているわね。
5-011	雛菊	全て姉さんが教えてくれた。 大切なことはいつも姉さんが教えてくれる。
5-012	彩蝶	うふふ、可愛いわね。 可愛い可愛い私の雛菊。私のただ1人の妹。
5-013	雛菊	姉さん……
5-014	彩蝶	でもこんな上等な肉は滅多に手に入らない。 道具に頼らず素手で解体するのも良いかもしないわね。

- 5-015 雛菊 骨が碎け筋肉がちぎれ肉の裂けるあの感触は素手ならでわ。躍り食いもまた楽しい。
- 5-016 彩蝶 そうね。だけど忘れはならない一番のご馳走は、断末魔の叫び。
- 5-017 彩蝶 そのでき次第でその後の食事の味がガラッと変わってしまうんですもの。
- 5-018 雛菊 うん。良い声で鳴いて貰わないと困る。
- 5-019 彩蝶 あら、困惑した顔をしてどうしたのですか？ 一体なんの話をしているんだ、ですか？
- 5-020 彩蝶 あらあら、なんて察しの悪いお方なんでしょう。もちろん今晚の食事について話しているんですよ。こう見えて私ってお料理が得意なんですよ。
- 5-021 雛菊 姉さんの作る料理はどれも絶品。
- 5-022 彩蝶 ええ、それに関しては自画自賛したいほどなんですよ。ですが残念なお知らせがあります。貴方は料理を食べることが出来ません。
- 5-023 雛菊 そう、だってお前は食べられるんだから。あ、でも生きたまま自分の肉を食わせることはできる。
- 5-024 彩蝶 それはなかなかの見世物だけど、私は博愛主義者なのよ。そんな残酷な真似は出来ないわ。
- 5-025 彩蝶 だからちゃ～んと殺してから調理しなきゃ。あ～、喉をかき切った時に吹き出す鮮血を想像するだけで、せっかく鎮まった体が、また疼いてしまう。
- 5-026 雛菊 お前達はなんだ？ なんだとは口の利き方がなっていない。

- 5-027 彩蝶 まあまあ、これから私たちの血肉になる方なんだから、
ここは敬意を払って教えてあげましょう。
- 5-028 彩蝶 私たちは人間ではないのですよ。
この地に百数十年住み続けている鬼の姉妹。
- 5-029 雛菊 こんな山奥にうら若い姉妹が2人で住んでいるはずがない。
疑問に思わなかったのならおめでたい。
- 5-030 彩蝶 まあ、そんなわけで貴方は運悪く
そんな私たちに捕まってしまったというわけです。
私たちにとっては実に運の良い話ですが。
- 5-031 雛菊 姉さんが見つけなければ今頃熊に襲われ死んでいた。
少しとはいえ生きながらえたのだから、
この男にとっても運は良い。
- 5-032 雛菊 なにより姉さんの血肉になれるんだから、
これ以上の幸せはない。
- 5-033 雛菊 男は嫌いだけど肉に罪はない、
精気を吸いつくして骨までしゃぶる。
- 5-034 彩蝶 あら、雛菊。頬に精液がついているわ。
ジッとしていなさい、舐めとってあげる。
レロッ……
- 5-035 雛菊 姉さん……
- 5-036 彩蝶 あらあら、そんな蕩けた瞳をして。
また火がついてしまったかしら？
- 5-037 彩蝶 仕方がないわね。
ご馳走の前に姉妹仲良く愛し合いましょうか。
- 5-038 雛菊 姉さん……チュパチュパ……んうう……んはああ……
ん……はああ……チュパチュパ……

5-039

彩蝶

雛菊……チュパチュパ……んうう……んはああ……
ん……はああ……チュパチュパ……

5-040

SE

土砂降り